

令和3年11月8日(月) 近隣国探究Ⅰ、Ⅱ (韓国語)

11月8日(月) 学校設定科目「近隣国探究Ⅰ、Ⅱ (韓国語)」を担当している朱貞淑先生が所用で出勤できない状況の中、生徒がネイティブからの貴重な韓国語の授業を受けられるように、外国語科の市川 操教諭、渡辺裕子教諭、渡邊 司非常勤講師が Google Meet を活用した授業を展開しました。

先日、ロシア語の授業でも渡邊 進教諭が Zoom を活用したりモート授業を行いました。今回も生徒全員にタブレット端末を配付し、朱先生の Google Classroom に生徒が参加する形をとり、Meet でオンライン授業を行いました。また、電子黒板 (プロジェクター) をとおして、タブレット端末の操作方法を生徒に示しながら授業を進めました。

タブレット端末からの音量が小さく聞き取りづらいという反省から、生徒にはイヤホンを持参させました。朱先生に倣っての発音練習はもちろん、教材もプロジェクターに投影しながら練習問題等にも取り組みました。今後も様々な場面で工夫を凝らしながら有効に ICT を活用した取り組みを進めていきたいと考えています。



近隣国探究Ⅰ (2年生) の授業の様子。
渡邊 司非常勤講師がタブレット端末の操作について説明しながら授業を進めました。



近隣国探究Ⅱ (3年生) の授業の様子。
渡邊 司非常勤講師がタブレット端末の操作について説明しながら授業を進めました。
選択者が多いことから、外国語科の市川操教諭、渡辺裕子教諭も授業に参加し、タブレット端末の操作について生徒に分かりやすく教えていました。



近隣国探究Ⅱ (3年生) の授業の様子。
タブレット端末からの音量が小さく聞き取りづらいという反省から生徒にはイヤホンを持参させました。